

資 料 編

【総則関連資料】

資料1-2-3-1 近畿地方における主な地震災害

近畿地方における主な地震災害

西暦 発生日	日本歴 発生日	名称または 震央の地名	マグニ チュード	震 央 東経 北緯	震災地 平均半径	府城の震度 推定を含む	震央距離 (km)	被害の概 要
887. 8. 26	仁和 3. 7. 30	南海道沖	8. 6	135. 3° 33. 0°	230	—	190	山城摂津以下五畿七道、京都の家屋転倒し、所々に津波襲来し、とくに摂津口において最もはなはだしく溺死者あり、京都にては圧死者が多数あった
938. 5. 22	天慶元. 4. 15	山城大和	6. 9	135. 8° 34. 8°	—	—	30	京都の屋舎多く転倒し死者多数あった
1185. 8. 13	文治元. 7. 9	近江大和	7. 4	136. 1° 35. 3°	—	—	90	山城、近江、美濃、伯耆に被害、とくに京都は地裂け、陥没し、寺舎などの転倒、宇治橋がおちる
1361. 8. 3	正平16. 6. 24	南海道沖	8. 4	135. 0° 33. 0°	195	—	190	四天王寺倒壊、難波浦において津波による死者数百名
1510. 9. 21	永正 7. 8. 8	摂津河内	6. 7	135. 7° 34. 6°	28	—	20	河内葛井寺、その他21社倒壊 人家の被害多数
1579. 2. 25	天正 7. 1. 20	摂津	6. 2	135. 5° 34. 7°	—	—	5	四天王寺の鳥居崩壊
1586. 1. 18	天正13. 11. 29	美濃	7. 9	136. 8° 36. 0°	—	—	190	美濃、尾張、伊勢、山城、摂津、大和などに被害がでた
1596. 9. 5	文禄元年閏 7. 13 (慶長元年)	京都及び畿内 (伏見地震)	7. 0	135. 7° 34. 8°	40	4	30	淀川筋における最大の地震 京都では三条以南に被害が集中し、伏見は激甚であった 堺で死者 600人、大阪も人家被害多数
1662. 6. 16	寛文 2. 5. 1	琵琶湖西岸	7. 6	136. 0° 35. 3°	82	5	80	被害は琵琶湖の周囲に多く集中し、江州一國にて 民家約1,600軒倒れ、約400人が死んだ 京都では倒壊家屋数千軒、圧死者200人 高槻城、岸和田城破損、大阪で若干の死者
1707. 10. 28	宝永 4. 10. 4	宝永地震	8. 4	135. 9° 33. 2°	195	6	180	東は遠江、駿河から西は豊後、日向地方までゆすり、 津波によって多大な被害をみた 大阪で民家600軒倒れ死者約 750人、他に津波により 死者多数、船舶被害1,300、落橋50
1830. 8. 19	天保元. 7. 2	京都	6. 4	135. 7° 35. 0°	—	—	40	京都で死者 280名、負傷約1,300名を数えたほか、 丹波龜山、大津などで被害があった
1854. 7. 9	安政元. 6. 15	伊賀上野	6. 9	136. 2° 34. 8°	—	—	70	伊勢四日市で死者800、伊賀上野壊滅、奈良市で 死者284名、潰家800軒、大阪でも相当な震度があった
1854. 12. 23	安政元. 11. 4	安政東海地震	8. 4	137. 8° 34. 1°	—	5	220	伊勢、三河、若狭越前、土佐、伊豆などに被害はおよび 全国で倒壊流出家屋約8,300、焼失300、死者1,000 大阪においては倒壊約 200軒
1854. 12. 24	安政元. 11. 5	安政南海地震	8. 4	135. 0° 33. 0°	195	5~6	150	被害は、南海、西海、山陽、山陰におよび高知にては 焼失2,500戸、徳島においても1,000戸 大阪では、御堂筋から西部に大きな被害 津波による死者多数、船舶被害1,800、落橋10カ所
1891. 10. 28	明治24. 10. 28	濃尾地震	8. 0	136. 6° 35. 6°	195	5	150	日本の内陸地震では最大 全国で死者7,273、負傷者17,175、家屋全壊142,177 大阪では死者24、負傷者94、全壊1,011、半壊 708

近畿地方における主な地震災害

西暦 発生日	日本歴 発生日	名称または 震央の地名	マグニ チュード	震 東経 北緯	震災地 平均半径推定を含む	府域の震度 推定を含む	震央距離 (km)	被害の概 要
1899. 3. 7	明治32. 3. 7	震央の地名 紀伊大和	7.0	136.1° 34.1°	—	4	70	大阪市内砲兵工廠、小学校等損傷
1927. 3. 7	昭和 2. 3. 7	北丹後地震	7.3	135.2° 35.5°	—	4	110	京都府下で最大の被害を出し、死者2,881、全壊4,899、 全焼2,019
1936. 2. 21	昭和11. 2. 21	河内大和地震	6.4	135.7° 35.6°	—	4~5	25	大阪では死者21、負傷者 126、全壊 127、半壊 117 大坂で死者 8人、負傷者52人、全壊18、半壊89
1944. 12. 7	昭和19. 12. 7	東南海地震	7.9	136.6° 33.8°	—	4	130	大和川流域沿いでは泥水の噴出をみたところが多い 静岡、愛知、三重の3県の被害は甚大 大阪市内では死者 6人、負傷者 120人 全壊 122、半壊 (小破を含む) 2500
1946. 12. 21	昭和21. 12. 21	南海地震	8.0	135.6° 33.0°	—	4	185	被害は、四国、九州、近畿、中国及び中部地方の 一部にいたり、死者1,330、全壊9,000、半壊約20,000 津波によっても大きな被害を与えた 大阪では死者32人、負傷者46人、全壊261、半壊217
1952. 7. 18	昭和27. 7. 18	吉野地震	6.8	135.8° 34.5°	—	4	30	奈良、大阪、京都等で被害 大阪では死者 2人、負傷者75人、全壊 9、半壊 7
1995. 1. 17	平成 7. 1. 17	兵庫県南部地震	7.3	135.0° 34.6°	—	4	50	全体 死者6,433人、行方不明3人、負傷者43,792人 全壊104,906棟、半壊144,274棟 府内 死者31人、負傷者3,589人 全壊895棟、半壊、72,232棟 町内 負傷者8人(重傷3、軽傷5) 半壊1棟、一部破損185棟 公共施設16棟、その他建物17棟一部破損

注：震央距離とは大阪市を基準とした距離

資料1-2-3-2 大阪府における主な地震災害

大阪府における主な地震災害

西暦 発生年月日	日本歴 発生年月日	名称または 震央の地名	マグニ チュード	震 東経 北緯	震災地 平均半径推定を含む	府域の震度 推定を含む	震央距離 (km)	被 害 の 概 要
887. 8. 26	仁和 3. 7. 30	南海道沖	8. 6	135. 3° 33. 0°	230	—	190	津波による死者多数
1361. 8. 3	正平16. 6. 24	南海道沖	8. 4	135. 0° 33. 0°	195	—	190	四天王寺倒壊、津波による死者数百名
1510. 9. 21	永正 7. 8. 8	摂津河内	6. 7	135. 7° 34. 6°	28	—	20	河内葛井寺、その他21社倒壊 人家の被害多数
1579. 2. 25	天正 7. 1. 20	摂津	6. 2	135. 5° 34. 7°	—	—	5	四天王寺の鳥居崩壊
1596. 9. 5	文祿元年閏 7. 13 (慶長元年)	京都及び畿内 (伏見地震)	7. 0	135. 7° 34. 8°	40	—	30	堺で死者600人、大阪も人家被害多数
1662. 6. 16	寛文 2. 5. 1	琵琶湖西岸	7. 6	136. 0° 35. 3°	82	—	80	高槻城、岸和田城破損、大阪で若干の死者
1707. 10. 28	宝永 4. 10. 4	宝永地震	8. 4	135. 9° 33. 2°	195	—	180	大阪で死者約740人、他に津波により 死者多数、船舶被害1,300、落橋50
1854. 12. 23	安政元. 11. 4	安政東海地震	8. 4	137. 8° 34. 1°	—	—	220	大阪で倒壊 200軒
1854. 12. 24	安政元. 11. 5	安政南海地震	8. 4	135. 6° 33. 2°	195	5~6	150	津波による死者多数、船舶被害1,800、落橋10箇所
1891. 10. 28	明治24. 10. 28	濃尾地震	8. 4	136. 6° 35. 6°	195	—	150	死者24人、負傷者94人、全壊1,011戸、半壊 708戸
1899. 3. 7	明治32. 3. 7	紀伊大和	7. 6	136. 0° 34. 2°	—	—	70	大阪市内砲兵工廠、内平野小学校等損傷
1927. 3. 7	昭和 2. 3. 7	北丹後地震	7. 5	135. 1° 35. 6°	—	—	110	死者21人、負傷者126人、全壊127戸、半壊 117戸
1936. 2. 21	昭和11. 2. 21	河内大和地震	6. 4	135. 7° 34. 5°	—	4~5	25	死者8人、負傷者52人、全壊18戸、半壊89戸
1944. 12. 7	昭和19. 12. 7	東南海地震	8. 0	136. 2° 33. 7°	—	—	130	大阪市内で死者6人、負傷者120人 全壊122戸、半壊(小破を含む) 2,500戸
1946. 12. 21	昭和21. 12. 21	南海地震	8. 1	135. 6° 33. 0°	—	—	185	死者32人、負傷者46人、全壊261、半壊217
1952. 7. 18	昭和27. 7. 18	吉野地震	7. 0	135. 8° 34. 5°	—	—	30	死者2人、負傷者75人、全壊9戸、半壊7戸
1995. 1. 17	平成 7. 1. 17	兵庫県南部地震	7. 3	135. 0° 34. 4°	—	—	50	全体 死者6,433人、行方不明3人、負傷者43,792人 全壊104,906棟、半壊144,274棟 府内 死者31人、負傷者3,589人 全壊895棟、半壊、72,232棟 町内 負傷者8人(重傷3、軽傷5) 半壊1棟、一部破損185棟 公共施設16棟、その他建物17棟一部破損

注：震央距離とは大阪市を基準とした距離

資料1-2-3-3 阪神・淡路大震災における被害状況

町名	住居半壊		住居一部破損		公共建物 一部破損	その他 一部破損	土木施設			ガス 漏れ
	棟数	世帯数	棟数	世帯数			河川	道路	その他	
青葉一丁目	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0
青葉二丁目	0	0	28	29	0	0	0	0	0	0
青葉三丁目	0	0	7	2	0	0	0	0	0	0
江川一丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江川二丁目	0	0	2	5	0	0	0	1	0	0
大字大沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桜井一丁目	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0
桜井二丁目	0	0	6	5	5	0	0	2	0	0
桜井三丁目	0	0	2	5	0	2	0	0	0	0
桜井四丁目	0	0	8	14	0	0	0	0	0	0
桜井五丁目	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0
大字桜井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桜井台	0	0	33	33	0	2	0	1	0	1
大字尺代	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
大字高浜	0	0	9	18	1	1	0	0	0	1
東大寺一丁目	0	0	5	8	1	0	0	0	0	0
東大寺三丁目	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0
東大寺四丁目	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
大字東大寺	0	0	6	13	0	1	0	0	0	0
大字百山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広瀬一丁目	1	1	13	22	0	4	0	0	0	1
広瀬二丁目	0	0	6	6	1	0	0	0	0	0
広瀬三丁目	0	0	4	4	0	5	0	0	0	0
広瀬四丁目	0	0	5	44	1	0	0	0	0	0
広瀬五丁目	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
大字広瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水無瀬一丁目	0	0	5	8	1	0	0	0	1	0
水無瀬二丁目	0	0	11	100	0	0	0	0	0	0
山崎一丁目	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
山崎二丁目	0	0	4	2	0	0	0	0	0	1
山崎三丁目	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
大字山崎	0	0	3	4	0	1	0	0	0	0
若山台一丁目	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
若山台二丁目	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	185	350	15	17	1	4	1	4

注) 公共施設の一部破損は高槻市の衛生化学処理場を除く

資料1-2-3-4 島本町における主な風水害（明治18年以降）

発 生 年月日	気象条件	降雨量（mm）・観測場所			被 害 の 概 要
		総雨量	24時間	最大時間	
明治18年 6.15～17	梅雨前線 低気圧				大山崎町内の桂川右岸が決壊し、淀川沿いの低地が浸水
昭和28年 9.25	台風13号	176.1 大阪			高槻市内桧尾川が決壊し、町南部が浸水 被害状況は全体で死者26、全半壊4,000以上 浸水家屋約17万
昭和42年 7.9	雨前線		165.0 町役場	55.0 町役場	町内各河川、水路、ため池のいたるところが決壊 災害救助法適用
昭和43年 7.2	風3号 大阪	200.0 町役場	180.0 町役場	42.0	
昭和44年 6.25	雨前線	106.0 大阪	161.0 町役場	20.0 町役場	
昭和44年 6.28～29			195.9 町役場	22.0 町役場	
昭和47年 7.12	雨前線	300.0 大阪	176.0 町役場		
昭和47年 9.16	台風20号		148.0 町役場		
昭和56年 10.8～9	集中豪雨	158.5 町役場	116.0 町役場	46.0 町役場	青葉二丁目1、2、6～7、13、17番地周辺で床下 浸水約100戸 道路上が冠水し泥がおおった
昭和58年 9.27～28	台風10号	210.0 町役場	150.0 町役場	35.0 町役場	床下浸水あり、尺代（長鳥橋）護岸浸食
昭和61年 7.20～21	集中豪雨	298.0 町役場	240.0 町役場	59.0 町役場	水無瀬一丁目12番地周辺床上床下浸水（2戸）外不明 尺代地区で山崩れ
昭和63年 8.18	集中豪雨	50.0 枚方	50.0 枚方	50.0 枚方	水無瀬一丁目の楠公道路で冠水
平成元年 9.3	集中豪雨		174.0 大阪		尺代地区で山崩れ1箇所
平成2年 8.13	集中豪雨			10分間 4.0 大阪	百山（JRガード下）道路冠水
平成3年 9.28	台風19号	1.0 大阪		0.5 大阪	暴風により山崎地内（鈴谷住宅内）で木造ガレージ 倒壊
平成6年 8.20	集中豪雨	30.5 大阪		25.0 大阪	百山（JRガード下）道路冠水
平成6年 9.29	台風26号	18.0 大阪	15.0 大阪	3.5 大阪	尺代スーパー林道の山林樹木倒壊
平成7年 7.4	集中豪雨	320.0 大阪	168.0 大阪	51.0 大阪	府道柳谷島本線茨木化成前で電柱倒壊
平成7年 8.30	集中豪雨	103.0 枚方	103.0 枚方	63.0 枚方	百山（JRガード下）道路冠水
平成16年 10.20	集中豪雨	133.3 町消防	133.3 本部	27.5	水無瀬一、二丁目 道路冠水 府道柳谷島本線 資材倉庫倒壊